

令和5（2023）年度

学生募集要項 外国人留学生入試

目 次

受験するみなさんへ	1
アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）	2～5
I 期・II 期	
入学者選抜の基本方針／募集人員／出願要件	6
選考方法	7～8
試験日程	9
指定校	
入学者選抜の基本方針／出願要件／推薦基準／選考方法／試験日程	10
I 期・II 期・指定校 共通	
小論文試験および面接について／資格・検定試験の証明書類	8
試験場／試験当日の注意事項	11～12
出願手続	12～14
コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法	15
受験票の交付／合格発表	16
入学手続／入学許可の取消	17
私費外国人留学生の学生納付金減免制度／カリキュラム改正について／ 入学予定者への課題・プレイスメントテストについて／履修地／ 災害により被災した入学志願者に対する特別措置について	18
入学手続時納入金について	19
家政学部食物学科・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ	20
学生寮等	21
オープンキャンパス日程／キャンパス・学生寮配置図／受験時の宿泊案内	22
キャンパス案内（試験場）／問い合わせ先	裏表紙

入学試験当日は、感染症予防対策のためマスクの着用をお願いします。
新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、記載されている日程および選抜方法に変更が生じる場合があります。変更の際は随時本学ホームページでお知らせします。



大妻女子大学
大妻女子大学短期大学部

受験するみなさんへ

この募集要項には、入学試験、合格発表、入学手続に関する重要事項が記載されています。

入学試験前日、当日は必ずこの募集要項を読み返し、試験場や試験当日の注意事項をもう一度確認してください。

- ・学年は4月に始まり、翌年3月に終わります。
- ・本学における授業は、原則、日本語で行われるので、十分な日本語能力が必要です。なお、本学には予備教育としての日本語教育機関は設置していませんので、入学以前に日本語を習得しておく必要があります。
- ・日本の管理栄養士、保育士等の資格（国家資格）は日本以外の国では有効ではありません。

個人情報の取り扱いについて

提出いただいた出願書類により得られた個人情報は、出願書類に関する問い合わせ、本学の入学者選抜および合否に関する連絡、統計調査を行うために利用し、他の目的で利用することはありません。ただし、入試結果について、在籍（出身）学校の進学指導のための情報として通知することもあります。

なお、個人情報のデータ処理等については、外部に業務を委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理いたします。

不測の事態が起きた場合の対応について

不測の事態が起きた場合の対応は、本学ホームページよりお知らせします。

大妻女子大学ホームページ <https://www.otsuma.ac.jp/>

問い合わせ窓口 広報・入試センター（千代田） tel. 03-5275-0404

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

■ アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

大妻女子大学

大妻女子大学は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 深く幅広い知識・教養及び専門的知識・技術を修得し、考察を深めるための基礎的な学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 自らの人生を積極的に考え、豊かな実りある将来を築きたいという意志を持っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)コミュニケーション力を磨き、主体的かつ創造的に問題の解決に取り組む意欲を持っている。
(2)人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。

家政学部

家政学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学問の出発点をなす、しっかりした基礎学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 生涯を通じて、個人と家庭の生活、社会の改善を考え、行動していきたいと思っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)人間の生活のあり方とその改善に強い関心を抱き、そのために主体的に学ぼうとする姿勢を有している。
(2)他の人々との協力、協働、社会的連帯ができる能力を持っている。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

被服学科	被服学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。 (2)高等学校で履修する、国語、英語、家庭、数学、化学、日本史、世界史、現代社会、政治経済などについて内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)物事を多面的かつ論理的に考察することができる。 (2)自分の考えを的確に表現し、円滑に伝えることができる。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)被服について関心があり、その専門知識を身に付けたい意欲がある。 (2)目標の実現に向けて積極的に取り組み、最後までやり遂げる意欲がある。
食物学科 食物学専攻	食物学科食物学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2)読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)食に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣を身につけている。 (2)行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
食物学科 管理栄養士専攻	食物学科管理栄養士専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2)読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)食と健康に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣が身につけている。 (2)管理栄養士としての使命や役割に強い関心を持ち、行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
児童学科 児童学専攻	児童学科児童学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)子どもを巡る問題に気づき、自分なりの考えを持つことができる。 (2)他者の考えを理解した上で自分の考えを整理し、論理的に考察し他者に伝えることができる。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)子どもと子どもをめぐる大人に強い関心を持ち、温かなまなざしで柔軟に他者と関わろうとする態度を有している。 (2)自分の興味関心を大切に、そのことを考えつづけるようとする態度を有している。
児童学科 児童教育専攻	児童学科児童教育専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	習得している知識・技能を働かせて、子どもを巡る問題を見出し、解決の方策を工夫しながら自分なりの考えをもち、それを他者に分かりやすく表現することができる。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	子どもと子どもをめぐる大人に強い関心をもち、温かなまなざしで他者と関わろうとする態度を有し、かつ子どもが自然事象に関わることに向き合おうとする姿勢をもっている。
ライフデザイン 学科	ライフデザイン学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「国語総合（現代文）」と「英語」の基礎学力をしっかりと身に付けている。 (2)高等学校までの学習や諸活動を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身に付けている。
	2. 思考力・判断力・表現力等	生活に関わる様々な出来事や現象について、人の意見に流されず、自分で考え、自分なりの意見を持つことができ、それを表現できる。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践する意欲を持っている。 (2)家族関係や地域の人間関係に関心があり、人と人との温かな交流を促進する意欲を持っている。 (3)生活の中の美に興味があり、美しい暮らしを提言する意欲を持っている。 (4)人間生活と自然環境の調和に興味があり、自ら実践し社会に提言する意欲を持っている。

文学部

文学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
2. [思考力・判断力・表現力等] (1)人間と言葉に関する事象を考察し、自らの判断を下すことができる人。
(2)自分の知識や意見を表現し、他者と情報を交換することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 人間と言葉に関する未開拓の領域を、主体的に究明しようとする人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

日本文学科	日本文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)日本文学や日本語の歴史を理解し、日本社会や日本語の持つ個性と多様性を知ることにより、現代に生きる私たちに必要な知識の習得に努めるとともに、日本語運用能力やプレゼンテーション能力の進展を図ろうとする意欲を持つ人。 (2)入学までに、「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」などの科目を履修し、日本文学史の大きな流れと日本語の特質などについて理解しようとしている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	自分とは異なる立場や意見の人々に対する知的寛容さや柔軟性を兼ね備えた判断力と思考力を持ち、それらを基盤として他者に向かって発信できる表現力・コミュニケーション能力を高める意欲を持つ人。
英語英文学科	英語英文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	英語の4技能（Speaking, Listening, Reading, Writing）全般の基礎的な力をそなえ、人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)高校までの英語学習を通して、人間・言葉・社会に関する事象に問題意識を持ち、筋道を立てて考え、それを説明することができる人。 (2)他者の意見を理解し、自身の知識や意見を的確に表現することで、他者と情報を交換することができる人。
コミュニケーション文化学科	コミュニケーション文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後異文化やメディア等について深く学修するために必要となる高等学校卒業相当の基礎的な知識と技能を修得している人。 (2)高等学校までの履修内容のうち、日本語及び英語の基礎的な能力（聞く、話す、読む、書く）を正確かつ十分に修得し、コミュニケーションに役立てることができる人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	日常的に新聞、放送メディア、インターネットなどのメディアに接し、国内外の社会の動きに関する知識や情報を積極的に集め、課題を発見した上で、自分の考えを的確に表現できる人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)日本や世界に対する幅広い知的な好奇心を持ち、他者と協同して主体的に学ぶことができる人。 (2)大学を卒業後、修得した知識・技能や能力を積極的に社会で役立てたいという意志を持っている人。

社会情報学部

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1)大学での修学に必要な、基礎的な学力を有し、社会、環境、情報を理解するための知識及び技能を獲得したい人。
(2)自らの考えを他者に的確に伝える技能と表現力を有する人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 基礎的な学力をベースに、主体的かつ創造的に、社会、環境、情報の各課題を論理的に分析し解決することのできる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 社会、環境、情報に興味・関心があり、自ら進んで意欲的に学び、卒業後、社会に積極的に貢献したい人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

社会情報学科 社会生活情報学専攻	社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)社会の動きや生活のあり方を理解するための広く深い知識を有し、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を獲得したい人。 (2)高校での社会科・国語科の科目への関心（履修）に留まらず、日頃から社会問題や情報、文章表現等への高い関心を持ち、積極的に読書や情報収集を行っている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	社会科学やメディアの活用法を学び、社会問題に対する思考と判断力を養い、その帰結としての問題解決への方策を表現する力を獲得したい人。
社会情報学科 環境情報学専攻	環境情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後の修学に必要な基礎的な知識を有し、環境を理解するための情報収集能力、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を身につけたい人。 (2)高校での環境に関わる科目（社会科・理科など）の履修に留まらず、日頃から環境への高い関心を持ち、積極的に情報収集を行い、自らの考えを他者に伝える技術と表現力を高めることを心がけている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	自然科学や社会科学の視点から環境について複合的に学び、環境問題に対する思考と判断力を養い、問題解決への方策を論理的に表現して、エコライフを実践したいと考えている人。
社会情報学科 情報デザイン専攻	情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校で履修する「数学」「理科」「国語」「英語」「地理歴史」「公民」の複数の科目あるいはそれらと同等レベルの学修内容について幅広く理解し、基礎的な学力を身につけている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)論理的な思考を深めて総合的に判断できると共に、自ら課題を見いだし、情報を的確に読み取りながら、自らの考えに基づいて行動できる人。 (2)自らの考えを効果的に伝える技能と表現力を有する人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	情報とデザイン及び情報とシステムに興味・関心があって自ら進んで学習する意欲を備えると共に、ボランティアや各種コンテストなど様々な活動に自主的かつ継続的に参加した実績を持つ人。

人間関係学部

人間関係学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学びに必要となる、高等学校卒業相当の基礎学力を身につけている人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 問題を多角的にとらえ、創造的・論理的に考えることができ、他人の意見を聞き理解し、自分の意見を表明することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)人間や社会に対して幅広く深い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。
(2)学内・学外での学びや活動に意欲と関心を持ち、意見や関心が異なる人たちとも協力しながらやり遂げることができる人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

人間関係学科 社会学専攻	社会学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に大学の授業で必要となる、文章の解説、発表や討論、レポート作成のための日本語能力の基礎となる「国語」の学力がある人。 (2)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会学を学ぶ上で必要となる基礎的な教科の「地理歴史」「公民」の学力がある人。 (3)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会現象をグローバルな観点から関連付け分析するために必要な「外国語」の学力がある人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	課題を多角的にとらえ、創造的に考える意志を持っている人。 (1)人間や社会に対して幅広い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。 (2)大学で学ぶことに意欲を持っていて、意見や関心が異なる人たちとも柔軟に協力していける人。
人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	社会・臨床心理学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)心理学の専門的知識と技能を学ぶために必要となる、高等学校卒業相当の知識と基礎学力を幅広く身に付けている人。 (2)高校までの履修内容のうち、文章読解、文章（レポート）作成、プレゼンテーション、ディスカッションの基礎となる日本語能力と外国語の基礎力を身に付けている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)社会の様々な問題について、数学（特に統計に関する知識および技能）を用いて科学的に分析・解明していく判断力や論理的思考力を身に付けている人。 (2)グループ学習や課外活動、ボランティア活動の経験があり、集団や組織の中で自分の意見を的確に表現する力と、異なった考え方の人とも協力しながら課題をやり遂げることのできる人。 人間や社会に対して広く深い興味関心を持ち、人間関係性と心理学の専門的知識・技能を生かして社会に貢献したいという意欲を持っている人。
人間福祉学科	人間福祉学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)大学の授業に必要な、高等学校卒業相当の「国語」、「英語」の学力がある人。 (2)社会福祉を学ぶ上で、高等学校卒業相当の「地理歴史」又は「公民」の学力がある人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	文章での表現力、読解力及び記述力を持ち、他人の意見を聞き理解し自分の意見を表明することができる人。 (1)身近に発生している福祉に関する問題について深い関心を持ち、その解決に向けて取り組む意欲を持つ人。 (2)学校での学習や課外活動等において、他の人と協力しながら主体的に参加し、課題をやり遂げることができる人。

比較文化学部

比較文化学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

比較文化学科	1. 知識および技能	(1)外国語と外国の歴史や文化についての知識（具体的には「国語」「英語」を基本に外国文化と日本文化を比較するための基準となる「世界史」「日本史」の知識）を持っている。 (2)基本的な語学力と論の構成力を持っている。
	2. 思考力・判断力・表現力等	物事を自分で考え、自分の言葉で表現する姿勢がある。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	意欲的に多様な人々と協働して学ぶ態度がある。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

大妻女子大学短期大学部

大妻女子大学短期大学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1)高校の学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など各学科が指定した科目において基礎学力および技能を身につけている。
(2)短期大学部の授業が理解できる一定以上の知識があり、入学後の修学に必要な技能を有している。
2. [思考力・判断力・表現力等] 常に問題意識を持って、自らテーマを見つけ物事を論理的に考える力、自分の考えを的確に相手に伝えることができる能力をそなえている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 多様な人々とコミュニケーションを図って、自立した将来を創り上げていく意欲を持ち、そのための課題に積極的に取り組むことができる。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

家政科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。			
家政専攻	1. 知識および技能	高校での学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など、入学後の修学に必要な、基礎知識と技能を有し、さらに、資格取得や課外活動など、高校時代に充実した日常生活を送ることができた人。	
	2. 思考力・判断力・表現力等	物事を多面的・論理的に、考察と判断ができ、自分の考えを、他者に的確に表現し、伝えることのできるコミュニケーション能力を持ち、さらに、他者の考えを、柔軟に受け入れ、理解する、協調性を有している人。	
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	生活の基盤である衣、食、住、保育、健康などの学習の他、家政専攻での学習に深い関心があり、主体的・積極的に取り組む態度を有し、得られた知識と資格などの専門性を、将来の生活や就職、社会貢献に役立てる意欲のある人。	
家政科 生活総合 ビジネス 専攻	1. 知識および技能	(1)文章の読解・レポート作成などの「国語」の能力、基礎的な「数学」の能力、「英語」の基本能力がある。 (2)ビジネスを学ぶ上で必要とされる社会の出来事や仕組みに関する興味と一般的な知識がある。	
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)物事を多面的かつ論理的に考えることができる。 (2)自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。	
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)ビジネスの世界で自分の能力を発揮することに強い関心があり、積極的に考えて行動できる、また生活人そして企業人として自立した将来を真剣に考えることができる。 (2)主体性を持って他者とのコミュニケーションを図り、共働して学ぶ態度を有する。	
食物栄養 専攻	1. 知識および技能	(1)専門科目を学ぶために必要な「化学」、「生物」、「家庭」の基礎的な内容を理解している。 (2)読解力や語学力の基礎となる「国語」を通して、聞く、話す、読む、書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。また、実務的な計算能力がある。	
	2. 思考力・判断力・表現力等	健康や食生活に関する問題について、知識や情報を基に論理的に考察し、判断したり、行動したりすることができる。	
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	健康・食生活に対する強い関心を持ち、将来、食を通じて人々の健康に貢献したいという意欲がある。学修課題に積極的に取り組み、主体的に学ぶことができる。	
国文科	国文科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。		
	1. 知識および技能	日本語、日本文学・文化に関して、高等学校卒業時点で身に付けていると考えられる基本的な知識がある人。	
	2. 思考力・判断力・表現力等	現在までの学校生活と、短大国文科での2年間との関係から、卒業後の自分の将来像をイメージしようと努め、自分を一歩でも向上させる方法を考えている人。	
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)日本語、日本文学・文化を通して、日本や世界の社会について積極的に知ろうとしている人。 (2)自分の考えを会話や文章で的確に表現しようとする、強い意欲がある人。	
英文科	英文科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。		
	1. 知識および技能	(1)英米を中心とした世界の文化・歴史に関して、基本的な知識をそなえた人。 (2)英文科の授業が理解できる一定以上の英語の能力、特にリーディングの力を持った人。	
	2. 思考力・判断力・表現力等	常に問題意識を持って、自ら見つけたテーマを論理的に考え、「自分の言葉」でまとめることができる人。	
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)多様な人々の意見に耳を傾けると同時に、自分の意見も積極的に伝えることによって、自分を高めていきたいという意欲を持った人。 (2)ことばを深く理解することによって、人のこころを大切に、主体的に人生を歩んでいける人。	

※ディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成及び実施に関する方針)は本学ホームページ(<https://www.otsuma.ac.jp/>)をご参照ください。

■ 入学者選抜の基本方針

日本国籍を有しない者で、本学及び志望学科の教育方針を理解し、本学が定める入学資格及び十分な勉学熱意・学力並びに入学後の生活及び勉学で困難なく成果をあげられるような日本語能力を有する人物であるか、提出書類、筆記試験（小論文）、面接により総合して評価する。

■ 募集人員

学部・学科・専攻			募集人員		
			I 期	II 期	
家政学部	被服学科		若干名	若干名	
	食物学科	食物学専攻			
		管理栄養士専攻			
	児童学科	児童学専攻			
		児童教育専攻			
ライフデザイン学科					
文学部	日本文学科		若干名	若干名	
	英語英文学科				
	コミュニケーション文化学科				
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	若干名	若干名	
		環境情報学専攻			
		情報デザイン専攻			
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	若干名	若干名	
		社会・臨床心理学専攻			
	人間福祉学科				
比較文化学部	比較文化学科		若干名	若干名	
短期大学部	家政科	家政専攻	若干名	若干名	
		生活総合ビジネス専攻			
		食物栄養専攻			
	国文科				
	英文科				

・受験者の学力状況により合格者数が募集人員を満たさない場合があります。

■ 出願要件

〔入学資格〕

外国人留学生（大妻女子大学外国人留学生規程第2条第1号に該当する者）として入学できる者は、日本国以外の国籍を有し、以下の各号のいずれかに該当し、入学時に「出入国管理及び難民認定法」に定められる「留学」の在留資格を取得する者とする。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力を認定する当該国の検定に合格した者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 外国において高等学校に対応する学校の課程が12年未満で、文部科学大臣が指定した準備教育課程または研修施設の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣が指定したウクライナ、ウズベキスタン、スーダン、ベラルーシ、パルー、ミャンマーまたはロシアの課程を修了した者
- (5) 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベルを有する者、または国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
- (6) その他本学において、前記(1)～(5)と同等以上の資格を有すると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者

〔出願要件〕

外国人留学生として出願できる者は、上記〔入学資格〕に該当する者（該当見込者を含む）で、以下の各号すべてに該当する女子とする。

- (1) 「出入国管理及び難民認定法」に定められる「留学」の在留資格を取得できる者
※II期入試に出願する場合は、在留資格「留学」を有していることが必要です。
- (2) 入学後の生活及び勉学において支障のない十分な日本語能力を有する者
- (3) 日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負える確実な身元保証人がいる者

◇出願要件審査

出願要件審査を希望する方は出願要件審査用紙に記入の上、本学出願要件を証明する書類・成績証明書（いずれもコピー可。大学卒業生・在学中の者はその証明書も）を添えて以下の期日までに入試グループ（千代田）へお送りください。出願要件審査用紙は入試グループ（千代田）へご請求ください。日本語または英語以外で発行されたものには、日本語または英語の訳文を添付してください。訳文は大使館もしくは領事館等の公的機関が証明したもの、または翻訳会社が正式に作成したものとし、志願者本人による訳文は原則として認めません。

出願後に出願要件を満たしていないことが判明しても、一度提出した書類及び納入した入学検定料は返還しません。

I 期	令和 4（2022）年 9 月 16 日（金）～ 9 月 23 日（金・祝）
Ⅱ 期	令和 4（2022）年 12 月 9 日（金）～ 12 月 15 日（木）

■ 選考方法(Ⅰ期・Ⅱ期)

- 小論文（60 分間）、面接および成績証明書などの出願書類を総合して判定します。
家政学部、文学部日本文学科、コミュニケーション文化学科、社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻は、当該学科が指定する機関が発行した日本語能力証明書を提出すれば、判定に用います。【評価方法：試験の得点に記載された成績に基づく評価を加算する】
比較文化学部比較文化学科は、日本語能力試験（JLPT）の 1 級または N1、日本留学試験（EJU）の日本語の成績（平均点以上）、TOEFL iBT®、TOEIC®の成績証明書を提出すれば、書類審査の対象とします。ただし、当該試験を受験していなくても出願は可能です。
- 面接は、複数の面接担当者で個人面接を行います。面接では、志望理由、学科・専攻への適性、基礎学力などを見ます。
- 当該学科が指定する機関が発行した日本語能力証明書の提出によって、小論文試験を免除する学科・専攻があります。

学部・学科・専攻			国際交流基金及び日本国際教育支援協会 が実施する日本語能力試験（JLPT）の 「認定結果及び成績に関する証明書」 ※小論文試験免除基準：1 級または N1		独立行政法人日本学生支援機構が実施する 日本留学試験（EJU）の「日本語」の成績 を証明する書類 Ⅰ期：2021 年 6 月～2022 年 6 月実施分 Ⅱ期：2021 年 6 月～2022 年 11 月実施分 ※小論文試験免除基準：平均点以上		TOEFL iBT®、 TOEIC® の 成績証明書
			1 級または N1	2 級または N2	平均点以上	平均点未満	
家政学部	被服学科		☆	☆	—	—	—
	食物学科	食物学専攻	☆	☆	☆	☆	—
		管理栄養士専攻	☆	☆	☆	☆	—
	児童学科	児童学専攻	☆	☆	☆	☆	—
		児童教育専攻	☆	☆	☆	☆	—
	ライフデザイン学科		☆	☆	☆	☆	—
文学部	日本文学科		☆	—	☆	—	—
	英語英文学科		●※	—	●※	—	—
	コミュニケーション文化学科		☆	☆	☆	☆	—
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	●	—	●	—	—
		環境情報学専攻	●	☆	●	—	—
		情報デザイン専攻	●	—	●	—	—
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	—	—	—	—	—
		社会・臨床心理学専攻	—	—	—	—	—
	人間福祉学科		●	—	●	—	—
比較文化学部 比較文化学科			■	—	■	—	■
短期大学部	家政科	家政専攻	●	—	—	—	—
		生活総合ビジネス専攻	●	—	—	—	—
		食物栄養専攻	●	—	—	—	—
	国文科		●	—	—	—	—
	英文科		●	—	●	—	—

※ 文学部英語英文学科は小論文試験のうち日本語による設問に対し日本語で解答する問題のみ免除します。

TOEIC、TOEFL and TOEFL iBT are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS) .
This publication is not endorsed or approved by ETS.

- いずれかの書類の提出が可能で、指定する基準を満たしていれば、小論文試験を免除します。
- ☆ 取得している成績に関する証明書があれば全て提出してください。判定に用います。
【評価方法：満点（100点）に、記載された成績に基づく評価を加算する】
- 書類審査の対象とします。評価の方法は、書類審査の一部として取り入れ、満点（100点）の中での評価項目とします。当該試験を受験していなくても出願は可能ですが、その場合、当該評価項目の得点はありません。

■ 小論文試験（Ⅰ期・Ⅱ期）および面接について（Ⅰ期・Ⅱ期・指定校共通）

学部・学科・専攻			小論文試験（60分間）	面接	
				口頭 試問	面接内容
家政学部	被服学科		日本語による設問に対し日本語での解答	○	これまでの活動、本学及び日本で学ぶ意義、将来展望、被服分野に関する知識の質問を含む
	食物学科	食物学専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	食への幅広い関心と知識、自然科学への理解、日本語のコミュニケーション能力を問う
		管理栄養士専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	食への幅広い関心と知識、自然科学への理解、日本語のコミュニケーション能力を問う
	児童学科	児童学専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	日本の教育・保育の制度概要についての質問を含む
		児童教育専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	日本の教育の制度概要についての質問を含む
	ライフデザイン学科		日本語による設問に対し日本語での解答	○	生活の諸問題や時事に関する質問を含む
文学部	日本文学科		日本語による設問に対し日本語での解答	○	日本の文学、語学、文化、歴史の基礎知識に関する質問を含む
	英語英文学科		日本語による設問に対し日本語で解答するものと、英語による設問に対し英語で解答するものの計2問※そのために解答時間を延長することはない。	○	英語の基礎的な知識・技能を問う質問を含む
	コミュニケーション文化学科		日本語による設問に対し日本語での解答	○	現代の文化・社会に関する質問を含む
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	現代社会、経済、時事に関する質問を含む
		環境情報学専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	環境に関する質問を含む
		情報デザイン専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	日本語による情報とデザイン及び情報とシステムに関する質問を含む
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	現代の日本社会に関する質問を含む
		社会・臨床心理学専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	心理学への関心に関する質問を含む
	人間福祉学科		日本語による設問に対し日本語での解答	○	本学科で学ぶ動機、キャリア計画、日本の福祉の現状に関する知識及び考えについての質問を含む
比較文化学部 比較文化学科			日本語による設問に対し日本語での解答	○	学びたい地域の歴史や文化に関する質問を含む
短期大学部	家政科	家政専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	衣・食・住生活、保育、環境、健康に関する質問を含む
		生活総合ビジネス専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	基礎学力や出身国での経験と志望動機の関係に関する質問を含む
		食物栄養専攻	日本語による設問に対し日本語での解答	○	専門に必要な基礎知識や食・栄養・健康に関する質問を含む
	国文科		日本語による設問に対し日本語での解答	○	日本語、日本文学の基礎知識に関する質問を含む
	英文科		英語による設問に対し日本語での解答	○	自分の将来に関する英語のスピーチ及び質疑応答を含む

■ 資格・検定試験の証明書類（Ⅰ期・Ⅱ期・指定校共通）

該当試験	提出書類	注意点
国際交流基金及び日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（JLPT）	「認定結果及び成績に関する証明書」	・コピー不可
独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）※ Ⅰ期・指定校：2021年6月～2022年6月実施分 Ⅱ期：2021年6月～2022年11月実施分	受験票のコピー （受験票を紛失した場合は成績通知書のコピー）	・受験票はA4判の用紙にコピーしてください。 ・必ず願書に記入した受験番号と一致するコピーを提出してください。 ・万が一受験票を紛失した場合は、日本留学試験の成績通知書のコピーを提出してください。
TOEFL iBT®	Official Score Report	・2年以内のもの ・インターネットで出力したスコアは不可 ・米国ETSから大妻女子大学へ直接郵送する手続をとってください。 大妻女子大の登録コード：6923
TOEIC®	Official Score Certificate（公式認定証） またはスコア・レポート（個人成績表）	・2年以内のもの ・インターネットで出力したスコアは不可 ・IPも可

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施が中止となり受験できなかった方は、入試グループ（千代田）へご相談ください。

TOEIC、TOEFL and TOEFL iBT are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

■ 試験日程

外国人留学生入試 Ⅰ期

令和4(2022)年11月19日(土)

学部・学科・専攻			集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
家政学部	食物学科	管理栄養士専攻	10：30 小論文試験 〔免除者は12：30〕 ※ 2	11：00～12：00 ※ 2	13：00	千代田 キャンパス
	ライフデザイン学科					
文学部	英語英文学科					
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻				
		環境情報学専攻				
		情報デザイン専攻				
比較文化学部	比較文化学科					

学部・学科・専攻			集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	8 : 30	9 : 00 ～ 10 : 00	10 : 20	多摩 キャンパス
		社会・臨床心理学専攻			〔 小論文試験 免除者は 9 : 00 〕	
	人間福祉学科					

令和4(2022)年11月20日(日)

学部・学科・専攻			集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
家政学部	被服学科		10：30 小論文試験 〔免除者は12：30〕	11：00～12：00	13：00	千代田 キャンパス
	食物学科	食物学専攻				
	児童学科	児童学専攻				
		児童教育専攻				
文学部	日本文学科					
	コミュニケーション文化学科					
短期大学部	家政科	家政専攻				
		生活総合ビジネス専攻				
		食物栄養専攻				
	国文科					
	英文科					

※1 学科・専攻によって試験日、集合時間等が異なりますので、注意してください。

※2 文学部英語英文学科：小論文試験設問1問免除者は、集合時間を10:30、小論文試験時間を11:00～11:30とします。

※3 志願者数によっては、試験開始時間（集合時間）に変更が生じることがあります。

※4 Ⅰ期において試験日が異なる学科・専攻であっても複数出願することはできません。

外国人留学生入試 Ⅱ期

令和5(2023)年2月11日(土・祝)

学部・学科・専攻			集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
家政学部	被服学科		9：30 〔 小論文試験 〕 〔 免除者は10：50 〕 ※ 2	10：00～11：00 ※ 2	11：20	千代田 キャンパス
	食物学科	食物学専攻				
		管理栄養士専攻				
	児童学科	児童学専攻				
		児童教育専攻				
ライフデザイン学科						
文学部	日本文学科					
	英語英文学科					
	コミュニケーション文化学科					
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻				
		環境情報学専攻				
		情報デザイン専攻				
比較文化学部	比較文化学科					
短期大学部	家政科	家政専攻				
		生活総合ビジネス専攻				
		食物栄養専攻				
	国文科					
	英文科					

学部・学科・専攻			集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	12：30	13：00～14：00	14：20 〔 小論文試験 免除者は13：00 〕	多摩 キャンパス
		社会・臨床心理学専攻				
	人間福祉学科					

※1 学科・専攻によって集合時間等が異なりますので、注意してください。

※2 文学部英語英文学科：小論文試験設問1問免除者は、集合時間を9:30、小論文試験時間を10:00～10:30とします。

※3 志願者数によっては、試験開始時間（集合時間）に変更が生じることがあります。

■ 入学者選抜の基本方針

日本国籍を有しない者で、本学及び志望学科の教育方針を理解し、本学が定める入学資格及び十分な勉学熱意・学力並びに入学後の生活及び勉学で困難なく成果をあげられるような日本語能力を有する人物であるか、提出書類、面接により総合して評価する。

■ 出願要件

〔入学資格〕

外国人留学生（大妻女子大学外国人留学生規程第2条第1号に該当する者）として入学できる者は、日本国以外の国籍を有し、以下の各号のいずれかに該当し、入学時に「出入国管理及び難民認定法」に定められる「留学」の在留資格を取得する者とする。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力を認定する当該国の検定に合格した者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 外国において高等学校に対応する学校の課程が12年未満で、文部科学大臣が指定した準備教育課程または研修施設の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣が指定したウクライナ、ウズベキスタン、スーダン、ベラルーシ、ペルー、ミャンマーまたはロシアの課程を修了した者
- (5) 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベルを有する者、または国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
- (6) その他本学において、前記(1)～(5)と同等以上の資格を有すると認めた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者

〔出願要件〕

外国人留学生として出願できる者は、上記〔入学資格〕に該当する者（該当見込者を含む）で、以下の各要件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる女子とする。

- (1) 「出入国管理及び難民認定法」に定められる「留学」の在留資格を取得できる者
- (2) 入学後の生活及び勉学において支障のない十分な日本語能力を有する者
- (3) 日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負える確実な身元保証人がいる者
- (4) 本学を第一志望として、入学を強く希望し、積極的な意欲を持って学問に取り組もうとする者
- (5) 当該学科が指定する機関が発行した日本語能力等証明書、TOEFL iBT[®]、TOEIC[®]の成績証明書を提出できる者
- (6) 在学中の日本語学校での欠席日数が少ない者

■ 推薦基準

学校長あてにお送りする「大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部／令和5（2023）年度外国人留学生入試（指定校）推薦基準及び試験日程」でご確認ください。

■ 選考方法

- 1 面接および成績証明書などの出願書類を総合して判定します。面接では、志望理由、学科・専攻への適性、基礎学力などを見ます。
 - 2 面接は、複数の面接担当者で個人面接を行います。
- ※面接・書類審査等の結果、合格点に達していない場合は不合格とする場合もあります。
- ※面接については8ページをご参照ください。

■ 試験日程

令和4（2022）年11月19日（土）または11月20日（日）のうち、いずれか1日

学科・専攻によって試験日程が異なります。詳細は学校長あてにお送りする「大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部／令和5（2023）年度外国人留学生入試（指定校）推薦基準及び試験日程」、受験票でご確認ください。

■ 試験場

- 1 家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部は千代田キャンパス、人間関係学部は多摩キャンパスで実施します。試験場を間違えた場合は、受験することができません。事前に募集要項・受験票で試験場をよく確認してください。
- 2 駐車場・駐輪場はありません。公共の交通機関をご利用ください。あらかじめ試験場への経路、所要時間等を確認し、当日は早めに到着するよう心がけてください。
- 3 上履きは不要です。
- 4 試験場への入場者抑制の観点から保護者等控室は設けません。受験生への付き添いが必要な場合はご相談ください。
- 5 試験場（構内）の下見について
キャンパス見学可能日は、本学ホームページの「入試・入学」のページに随時掲載予定です。なお、日曜日・祝日、入学試験の前日・当日、在学生の補講・試験期間、オープンキャンパス前日は見学できません。

■ 試験当日の注意事項

I 期・II 期・指定校 項目 1～4

- 1 受験票
必ず持参してください。万一受験票を忘れた場合は、係員に申し出て再発行を受けてください。
- 2 集合時間
試験開始 30 分前までに所定の控室・試験室に入室し、試験監督者の指示に従ってください。I 期・II 期の受験者で小論文、面接のいずれかを未受験の場合は、受験放棄とみなし、不合格とします（小論文試験免除者を除く）。
交通状況を考慮して早めに行動してください。
I 期・指定校は千代田キャンパス、多摩キャンパスともに午前 8 時に試験場を開場します。
II 期は千代田キャンパスは午前 8 時、多摩キャンパスは午前 11 時 30 分に試験場を開場します。
- 3 遅刻・欠席
遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。I 期・II 期の受験者が小論文試験を受験する場合、試験開始から 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長はしません。
公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合や、やむを得ず欠席する場合は、集合時間までに本学下記連絡先まで必ず連絡してください。なお、災害や事故などにより試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験時間を繰り下げることがあります。
連絡先：入試グループ（千代田） tel. 03-5275-0404
教育・学事支援グループ（多摩） tel. 042-372-9970
- 4 その他
(1) 本学近辺で合否連絡の受付・勧誘・印刷物の配布を行う者があっても、本学とは一切関係がありません。発生した事故については、本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。
(2) 生活騒音（自動車、風雨、空調音、くしゃみ等）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

I 期・II 期 項目 5～7

- 5 入退出
集合時間（試験開始 30 分前）から試験終了時刻までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の試験室からの退室は認めません。
- 6 持ち物
(1) 小論文試験の解答には必ず HB の黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴムを使用してください。
その他、試験時間中に使用できる用具、使用できない用具、使用に許可が必要な用具は下記のとおりです。

使用できる用具	鉛筆削り（電動式不可）、鉛筆キャップ、時計（時刻だけを表示するものに限る。アラーム機能は、入室前に設定を解除すること。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）、目薬
使用できない用具	定規、下敷き、電卓、耳せん、辞書
試験監督者の許可が必要な用具	使い捨てカイロ、ひざかけ（上着等の代用含む）

- (2) 携帯電話等の通信機器は、試験場に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってカバン等にしまってください。試験時間中に時計として使用することはできません。試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計（時刻だけを表示するものに限る）を持参してください。
- (3) I 期の千代田キャンパスで試験を実施する家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部の受験者は小論文が午前、面接が午後開始のため各自で昼食の準備をしてください。小論文試験免除者は面接のみの実施のため昼食は不要ですが、文学部英語英文学科の小論文試験設問 1 問免除者は昼食の準備が必要です。

7 不正行為

以下の行為は不正行為となることがあります。

- ① 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ② カンニングをすること。
- ③ 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。
- ④ 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身に付けたり、操作したりすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等を持ち込むこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為の疑いがある場合、試験監督者による事情聴取、別室受験、退出等を求めることもあります。不正行為となった場合、それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験もすべて無効となり、入学資格を失います。

■ 出願手続

1 入学検定料の納入

入学検定料：35,000 円

納入期間	I 期・指定校	令和 4（2022）年 10 月 1 日（土）～ 10 月 19 日（水）
	II 期	令和 4（2022）年 12 月 31 日（土）～ 令和 5（2023）年 1 月 19 日（木）

入学検定料は日本国内の金融機関または日本国内の各コンビニエンスストアで納入できます。

いったん納入された入学検定料は、いかなる事情があっても返還しません。

【金融機関で納入の場合】

志願者データ登録票・振込依頼書・振込領収書（A～C 票）に必要な事項を記入のうえ、そのまま切り離さずに日本国内の金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください。ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATM での納入はできません。振込後に金融機関から A、C 票を受け取り、必ずその場で各票に「金融機関取扱店収納印」が押印されていることを確認してください。押印されていないものは無効です。振込領収書（C 票）は各自で保管してください。

【コンビニエンスストアで納入の場合】

「セブン-イレブン」、「ローソン」、「ファミリーマート」等の日本国内の各コンビニエンスストアで納入できます。納入方法の詳細（15 ページ）をよく読み、手続を行ってください。コンビニエンスストアで発行される「入学検定料収納証明書」を A 票に貼付してください。B、C 票は提出不要です。

※コンビニエンスストアでの納入方法についての問い合わせ <https://e-shiharai.net/>

2 出願期間

出願期間	I 期・指定校	令和 4（2022）年 10 月 13 日（木）～ 10 月 19 日（水）郵送・当日消印有効
	II 期	令和 5（2023）年 1 月 12 日（木）～ 1 月 19 日（木）郵送必着

3 出願方法

出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。送付する前に十分確認してください。

I 期・II 期

入学検定料を納入後、出願書類を簡易書留速達（市販の角形 2 号封筒（240 × 332mm））で提出してください。その際、表面に「外国人留学生入試願書在中」と朱書きしてください。

※日本国外からの出願書類送付は認めません。

指定校

入学検定料を納入後、志願者全員分の出願書類を学校長がとりまとめ、簡易書留速達（市販の角形 2 号封筒（240 × 332mm））で提出してください。その際、表面に「外国人留学生入試願書在中」と朱書きしてください。

4 出願書類送付先

〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地 大妻女子大学 広報・入試センター 入試グループ

出願手続（共通）

【全員提出する書類】

I 期	指定校
II 期	

【該当者のみ提出する書類】		I 期・II 期	指定校
1	国際交流基金及び日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（JLPT）の「認定結果及び成績に関する証明書」	左記1～4の証明書の提出によって、判定に用いる学科・専攻、小論文試験を免除する学科・専攻があります。詳細は7、8ページで確認してください。	該当者は提出してください。詳細は8ページで確認してください。
2	独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の「日本語」（指定校の場合、「総合科目」も含む）の成績を証明する書類		
3	TOEFL iBT® Official Score Report		
4	TOEIC® Official Score Certificate（公式認定証）またはスコア・レポート（個人成績表）		

※ TOEIC、TOEFL and TOEFL iBT are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

6 出願上の注意

- 提出書類の記入には、黒ボールペンを使用してください。書き損じた場合は、間違えた箇所に二重線を引き、余白に正しい内容を記入し、訂正してください。訂正印は不要です。
- 出願書類について、日本語または英語以外で発行されたものには、**日本語または英語の訳文**を添付してください。訳文は大使館もしくは領事館等の公的機関が証明したもの、または翻訳会社が正式に作成したものとし、志願者本人による訳文は原則として認めません。
- 入学願書〔所定用紙①〕および【D票】写真票〔所定用紙③〕の写真貼付欄には同一の写真を貼付してください。
- 入学検定料未納または出願書類未提出の場合、出願受付できません。
- 出願締切日までに到着しなかった書類は受理しません。なお、出願期間前に到着した出願書類は、出願期間開始日まで本学にて保管します。
- 出願書類に不備がある場合は、受付できないことがありますので注意してください。また、出願書類等に関する本学からの連絡には、速やかにその指示に従ってください。
- 出願後の入試種別、学科・専攻の変更はできません。
- 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、受験を無効とし、入学を取り消すことがあります。
- 疾病・負傷や障がい等のため、受験上および修学上、特別な配慮を希望する場合は、以下の申出締切日までに、必ず広報・入試センター入試グループ（千代田）までご相談ください（tel. 03-5275-0404）。また、それ以降に事故で負傷した方等についても、同様に配慮することがありますので、速やかに本学に申し出てください。なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただくことがあります。受験上・修学上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

I 期・指定校	令和4（2022）年9月29日（木）
II 期	令和5（2023）年1月5日（木）

志願者データ登録票記入例

A 票 令和5（2023）年度 大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部

志願者データ登録票〔外国人留学生入試〕

志望学科等（ア～ナのうち1つに○をつけてください。）

被服学科	ア	社会生活情報学専攻	コ
食物学専攻	イ	環境情報学専攻	サ
管理栄養士専攻	ウ	情報デザイン専攻	シ
児童学専攻	エ	社会学専攻	ス
児童教育専攻	オ	社会・臨床心理学専攻	セ
ライフデザイン学科	カ	人間福祉学科	ソ
日本文学科	キ	比較文化学部 比較文化学科	タ
英語英文学科	ク		
コミュニケーション文化学科	ケ		
家政専攻	チ		
生活総合ビジネス専攻	ツ		
食物栄養専攻	テ		
国文科	ト		
英文科	ナ		

※以下、大学記入欄。志願者記入不要。

生年 月 日
H S 年 月 日

コード 課 ④ 学 ⑧ 卒 ⑥

〒 102-8357
東京 千代田区若葉町122
新本館マンション809号室
電話番号 080-0000-0△△△
緊急連絡先（携帯電話可） 090-0000-0×××

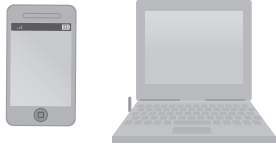
コンビニエンスストア
入学検定料収納証明書貼付欄
コンビニエンスストアで入学検定料を納入した場合は、この枠内に「収納証明書」を貼付してください。（志願者データ登録票のB、C票は提出は不要です。）

本学の入学検定料の支払いが可能なコンビニエンスストアは
セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート等です。
https://e-shiharai.net/ （取扱店→依頼人）

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも納入が可能です。

1 Webで事前申込み



画面の指示に従って必要事項を入力し、
お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、
もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

本学HP
からも
アクセス
できます！



2 コンビニでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

7-Eleven

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料
取扱明細書」・「領収書」(レシート)を
受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Looppi へ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料
取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポートまたは
マルチコピー機 へ

代金支払い

番号入力画面に進む

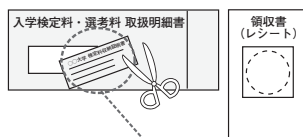
【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料
取扱明細書」・「領収書」(レシート)を受け取って
ください。

3 出 願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定欄に貼る。

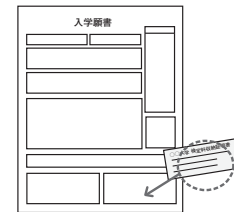
- セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」
の収納証明書部分を切り取る。
「領収書 (レシート)」は保管。



- ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」
の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



「収納証明書」を入学願書の
所定の欄に貼付。



入学願書に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■入学検定料の納入期間

外国人留学生入試Ⅰ期・指定校	令和4年10月 1日(土)～10月19日(水)
外国人留学生入試Ⅱ期	令和4年12月31日(土)～令和5年 1月19日(木)

■注意事項

- 納入期間をご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもって手続をしてください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になることがあります。
変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

「コンビニでの入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ
店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

■ 受験票の交付

受験票発送日	I 期・指定校	令和 4（2022）年 11 月 12 日（土）
	II 期	令和 5（2023）年 1 月 27 日（金）

A 票に記入いただいた住所に受験票を発送します。I 期・指定校は 11 月 16 日（水）午前中、II 期は 2 月 2 日（木）午前中になってもお手元に届かない場合、入試グループ（千代田）にお問い合わせください。

受験票が届いたら、記載事項を確認し、試験当日に必ず持参してください。

■ 合格発表

1 発表期間

I 期・指定校	令和 4（2022）年 12 月 1 日（木）15：00～12 月 7 日（水）15：00
II 期	令和 5（2023）年 2 月 15 日（水）15：00～2 月 21 日（火）15：00

2 発表の方法

Web を利用した合否照会システムにより行います。

I 期・II 期

合格発表日に合格者あてに合格通知書および入学手続書類を郵送します。手元に届くのは多くの場合、合格発表日の翌日以降となります。

指定校

合格発表日に本人あてに合否通知書を郵送します。手元に届くのは多くの場合、合格発表日の翌日以降となります。なお、合否については学校長にもお知らせします。

3 注意事項

- 合格通知書の未着、合否照会システムの誤操作等を理由とした入学手続期間の延長は認めません。
- 電話等による合否結果の問い合わせには応じません。
- 発表期間以外は利用することができません。

Webでの確認方法

- <https://www.go-pass.net/mche/otsuma/>にアクセスする。



※QRコード対応機種で利用できます。

- 「個人情報の取扱いについて」の表示内容を確認し、「同意して利用する」をクリックする。

- 受験番号 9 けた（半角）と、誕生日 4 けた（半角）を入力する。

※下図はイメージ

※受験番号はハイフンを除いた 9 けた（半角）

※誕生日が 2 月 8 日の場合は『0208』

受験番号・誕生日を入力してください。

受験番号（半角 9 けた）

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

誕生日（半角 4 けた）

〇〇〇〇

- 〔合格〕

おめでとうございます。
合格です。合格通知書を郵送しました。

- 〔不合格〕

残念ながら不合格です。

〔欠席・棄権〕

欠席または試験の一部を受験していないため、残念ながら不合格です。

利用できる機器等について

- インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末で確認ができます。
- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- パソコンの性能やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

■ 入学手続

合格者に交付する「入学手続の手引」にしたがって期間内に入学手続時納入金を納入し、必要書類を郵送してください。
納入した入学金および入学手続書類は、いかなる事情があっても返還しません。
入学手続時納入金に関するご質問は、広報・入試センター入試グループ（千代田）へお問い合わせください。

◇入学手続期間

I 期 指定校	令和 4 (2022) 年 12 月 2 日 (金)～12 月 7 日 (水) 郵送・当日消印有効	①入学手続時納入金納入 ②手続書類（誓約書等）提出
	令和 5 (2023) 年 1 月 13 日 (金) 郵送・当日消印有効	③在留カードのコピーもしくは住民票の写し（個人番号（マイナンバー）の記載がないもの）等を提出
II 期	令和 5 (2023) 年 2 月 16 日 (木)～2 月 21 日 (火) 郵送・当日消印有効	①入学手続時納入金納入 ②手続書類（誓約書等）提出
	令和 5 (2023) 年 3 月 6 日 (月) 郵送・当日消印有効	③在留カードのコピーもしくは住民票の写し（個人番号（マイナンバー）の記載がないもの）等を提出

※ I 期および指定校で出願時に希望した方で手続を完了した方には入学許可証を発行します。各自「留学」の在留資格を取得または更新してください。

※ 「留学」の在留資格が上記の期間までに取得できなかった場合、取得次第在留カード（両面）のコピーもしくは住民票の写し（個人番号（マイナンバー）の記載がないもの）を提出してください。

1 入学手続時納入金

上記の入学手続時納入金納入期間内に日本国内の金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください。ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATM での納入はできません。

納入期限までに本学の指定口座に送金されていない場合は、棄権とみなします。納入期限日に振り込む場合は、金融機関から本学への送金が当日扱いになるか金融機関の窓口で確認してから手続をしてください。

入学する学部・学科により入学手続時納入金合計が異なります。19 ページの表を参考にしてください。令和 5 年度納入金は 8 月以降、本学ホームページに掲載します。

2 入学辞退・納入金返還

入学手続時納入金を納入した方がやむを得ない事情により入学を辞退する場合は、令和 5 (2023) 年 3 月 31 日（金）までに入試グループ（千代田）までご連絡ください。納入金返還については下表でご確認ください。

◇納入金返還

	期日	返還対象	提出書類
I 期 II 期	手続後 ～令和 5 (2023) 年 3 月 31 日 (金) 郵送必着	入学金以外の納入金	①入学辞退届・納入金返還願
指定校	手続後 ～令和 5 (2023) 年 2 月 28 日 (火) 郵送必着	入学金以外の納入金	①入学辞退届・納入金返還願 ②出身学校長の推薦者入学辞退届
	令和 5 (2023) 年 3 月 1 日 (水) ～3 月 31 日 (金) 郵送必着	①学生教育研究災害傷害保険料 ②大妻コタカ記念会会費	①入学辞退届・納入金返還願 ②出身学校長の推薦者入学辞退届

■ 入学許可の取消

指定期日までに入学手続時納入金を納入できない場合、指定期日までに「留学」の在留資格を取得できない場合、あるいは外国人留学生としてふさわしくないと認められる場合は、入学の許可を取り消します。

■ 私費外国人留学生の学生納付金減免制度

私費外国人留学生（国費外国人留学生及び外国政府派遣留学生は除く）のうち、「出入国管理及び難民認定法」に定められる「留学」の在留資格を取得できる者で、経済的に困難な事情のある者については、特別の審査を経て学生納付金を減額することができます。

学生納付金の減免を希望する私費外国人留学生は、指定された期日までに、所定の書類および収入に関する証明書の提出が必要です（入学願書に希望の有無を記入する欄があります。詳細については、出願書類に記載された連絡先に後日連絡いたしますので、必ず応じるようにしてください）。

減免期間は、留学が認められ入学する当該年度の1年限りです。指定の期日までに入学時納入金合計を全額納入する必要がありますが、前期中に下記記載の「外国人留学生入試で入学する留学生の初年度の学生納付金減額率」に基づき、減額された金額を返金します。また、2年目以降については、学生納付金を全額納入後、別途定める奨学金給与規程により奨学金を受給することができます。

減免を認められた者が、「出入国管理及び難民認定法」に定められる「留学」の在留資格を入学時に取得できない等外国人留学生として入学することができなかった場合、減免は取り消しとなります。

【外国人留学生入試で入学する留学生の初年度の学生納付金減額率】

学生納付金	減額率
入 学 金	50%
授 業 料	
教育充実費	

※専攻費、保健費、学生傷害保険料、千鳥会費、学友会費、記念会費、冷暖房費等の減免は行わない。

■ カリキュラム改正について

令和5（2023）年度入学者からのカリキュラムについて、一部改正を検討している学科・専攻があります。詳細が決まり次第、本学ホームページでお知らせします。

■ 入学予定者への課題・プレイスメントテストについて

入学予定者に、入学までの期間を利用して各学科・専攻からの課題に取り組んでもらうことにしています。

課題の内容については、合格者に交付する「入学手続の手引」で連絡します（本学ホームページにも掲載します）。入学後の学習に役立ててください。

また、学部によっては、入学前または入学後に英語のプレイスメントテストを実施します。

■ 履修地

千代田キャンパス

家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

多摩キャンパス

人間関係学部

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

■ 災害により被災した入学志願者に対する特別措置について

本学では、大規模自然災害で被災した入学志願者に対して、入学検定料や入学金の免除措置を講じています。

各入学試験日から遡り、1年前までの期間に生じた災害で、本学が指定する地域に居住していた方が対象になります。対象となる災害・地域や申請方法、適用条件等は本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

ご不明な点については、入試グループ（千代田）までお問い合わせください。

■ 入学手続時納入金について（参考：令和4年度入学手続時納入金）

入学する学部・学科・専攻で入学手続時納入金額が異なります。以下の表で確認してください。
令和5年度納入金は8月以降、ホームページに掲載します。

大学学部

（単位：円）

区 分	学部・学科	家 政 学 部				文 学 部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	備 考
		被 服 学 科	食 物 学 科		児童学科 ライフデザイン学科	日 本 文 学 科 英 語 英 文 学 科 コミュニケーション文化学科	社会情報学科	人間関係学科 人間福祉学科	比較文化学科	
			食物学専攻	管理栄養士専攻						
入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料	387,500	387,500	387,500	382,500	372,500	377,500	372,500	372,500	372,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教 育 充 実 費	210,000	210,000	210,000	205,000	205,000	210,000	205,000	205,000	205,000	前期分 (後期分は前期と同額)
保 健 費	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	年 額
栄 養 士 専 攻 費		7,750	14,000							前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害傷害保険料	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	入学時のみ
千 鳥 会 費	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	年 額
学 友 会 費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	年 額
大妻コタカ記念会会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金合計	886,850	894,600	900,850	876,850	866,850	876,850	866,850	866,850	866,850	

〈参考〉

1 年 次 後 期 分		597,500	605,250	611,500	587,500	577,500	587,500	577,500	577,500	例年9月に納入
2 年 次 の 納 入 金	授業料および 教育充実費	1,215,000	1,215,000	1,215,000	1,195,000	1,175,000	1,195,000	1,175,000	1,175,000	年 額
	その他の 納 入 金	16,700	32,200	44,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	毎年度若干の変 動の可能性あり
3 年 次 の 納 入 金	授業料および 教育充実費	1,235,000	1,235,000	1,235,000	1,215,000	1,195,000	1,215,000	1,195,000	1,195,000	年 額
	その他の 納 入 金	16,700	32,200	44,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	毎年度若干の変 動の可能性あり
4 年 次 の 納 入 金	授業料および 教育充実費	1,255,000	1,255,000	1,255,000	1,235,000	1,215,000	1,235,000	1,215,000	1,215,000	年 額
	その他の 納 入 金	16,700	32,200	44,700	16,700	16,700	16,700	16,700	16,700	毎年度若干の変 動の可能性あり

短期大学部

（単位：円）

区 分	学部・学科	短 期 大 学 部				備 考
		家 政 科			国 英 文 科 科	
		家 政 専 攻	生活総合ビジネス専攻	食物栄養専攻		
入 学 金		250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料		362,500	357,500	362,500	347,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教 育 充 実 費		210,000	205,000	210,000	205,000	前期分 (後期分は前期と同額)
保 健 費		4,100	4,100	4,100	4,100	年 額
栄 養 士 専 攻 費				14,000		前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害傷害保険料		1,400	1,400	1,400	1,400	入学時のみ
千 鳥 会 費		10,800	10,800	10,800	10,800	年 額
学 友 会 費		1,800	1,800	1,800	1,800	年 額
大妻コタカ記念会会費		20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金合計		860,600	850,600	874,600	840,600	

（注）表中以外に以下の点にご注意ください。

〈参考〉

1 年 次 後 期 分		572,500	562,500	586,500	552,500	例年9月に納入
2 年 次 の 納 入 金	授業料および 教育充実費	1,165,000	1,145,000	1,165,000	1,125,000	年 額
	その他の 納 入 金	16,700	16,700	44,700	16,700	毎年度若干の変 動の可能性あり

- ア 実験実習の材料費およびオリエンテーション旅行費等は、実費を納入していただきます。
- イ 諸資格取得を希望する方は、入学後の所定の時期にそれぞれの課程履修費を納入していただきます。
- ウ 大妻コタカ記念会（同窓会）会費は、入学時から10年間分の会費です。

■ 家政学部食物学科・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ

大妻女子大学家政学部食物学科食物学専攻と管理栄養士専攻および短期大学部家政科食物栄養専攻は、厚生労働省から栄養士養成施設としての指定を受けています。これらの専攻に入学した学生はいずれの専攻においても、所定の科目の単位を修得することにより卒業を要件として、所定の手続を経て栄養士免許証を取得することができます。

1. 家政学部食物学科

栄養士資格取得科目等

食物学科を卒業するためには、大学で授業を受け、単位を修得することが必要ですが、食物学専攻と管理栄養士専攻には「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うもの、学外の病院、事業所、保健所、会社などの給食施設で行うものがあります。

以下、参考として令和4年度入学生を対象に開講される実験・実習科目名と配当年次・単位数を表記します。

(1) 学内で行う実験・実習科目

〔食物学専攻専門科目〕			〔管理栄養士専攻専門科目〕		
生活環境学実験	1年次	1単位	生活環境実験	1年次	1単位
人体構造機能論実験	1年次	1単位	生化学実験	2年次	1単位
食品化学実験	2年次	1単位	人体構造機能論実験	1年次	1単位
食品学実験	2年次	1単位	栄養代謝実習	2年次	1単位
食安全学実験	2年次	1単位	食品学実験	1年次	1単位
栄養化学実験	2年次	1単位	食品化学実験	2年次	1単位
臨床栄養学実習	3年次	1単位	食安全学実験	2年次	1単位
応用栄養学実習	3年次	1単位	栄養学実験	2年次	1単位
食事設計論実習	2年次	1単位	ライフステージ栄養学実習	3年次	1単位
栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位	臨床栄養学実習Ⅰ	2年次	1単位
栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位	臨床栄養学実習Ⅱ	3年次	1単位
給食管理実習Ⅰ	3年次	1単位	栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位
給食管理実習Ⅱ	3年次	1単位	栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位
基礎調理学実習	1年次	1単位	公衆栄養学実習	3年次	1単位
調理学実習	1年次	1単位	基礎調理学実習Ⅰ	1年次	1単位
			基礎調理学実習Ⅱ	1年次	1単位
			食事設計論実習	2年次	1単位
			給食経営管理実習Ⅰ	3年次	1単位
			給食経営管理実習Ⅱ	3年次	1単位

★実験・実習科目は45時間の授業をもって1単位となります。

(2) 学外で行う実習

校外実習 3・4年次 1単位（食物学専攻の実習科目）

栄養士課程においては、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識および技能を修得することを目的として「給食の運営」について、1週間1単位以上を校外実習（物を対象とした業務）として必須としています。実習施設は、小・中学校、会社・事業所、社会福祉施設、自衛隊などです。

臨地実習Ⅰ 3・4年次 1単位 臨地実習Ⅱ 3・4年次 3単位（管理栄養士専攻の実習科目）

管理栄養士課程においては、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判断に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技能を修得するため、臨地実習（人を対象とした業務）4単位以上（校外実習1単位以上を含む）を必須としています。実習施設は、病院、保健所・保健センター、小・中学校、社会福祉施設、会社・事業所、自衛隊などです。

2. 短期大学部家政科食物栄養専攻

食物栄養専攻では、「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うものと、学外の会社・事業所、保育所、病院、老人福祉施設などの給食施設で行うものがあります。学外で行う校外実習（45時間で1単位）は、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として備えるべき知識および技能を修得することを目的としており、栄養士免許証取得のために必須です。

■ 学生寮等

①大妻加賀寮（参考：令和4年度実績）

【所在地・電話番号】 東京都新宿区市谷加賀町 2-4-31（都営大江戸線牛込柳町駅 徒歩約7分）電話番号 03-5579-2080
●千代田キャンパスまで徒歩約25分

本学では、学生寮を用意しています。

詳細は、入学手続き類に同封される案内冊子でお知らせします。

本学ホームページで、大妻加賀寮の情報を発信していますのでご覧ください。

(https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/life_supports/dormitory/)

募集人数	入寮期間 (入学時から)		入寮手続金（税込）				入寮手続金合計 (税込)	入寮後の経費（税込）	
			入寮費 (2年間)	学寮費 (4月分)	食費 (4月分)	退寮時 タイル カーペット 交換費		学寮費 (月額)	食費 (月額)
	大学	短大		個室付 6 人用 シェアルーム				個室付 6 人用 シェアルーム	
未定	2年。その後 2 年の 延長可★	2 年	0 円 (免除)	69,000 円	19,250 円	40,000 円	88,250 円	69,000 円	(朝・夕 2 食) 約 19,000 円

★入寮期間は入学時から2年としますが、更新手続をすることで、更に入寮期間を2年延長することが可能で、最長4年在寮できます。

- 寮室は、個室付6人用シェアルームです。
- 寮の管理を業者に委託しています（24時間常駐）。
- 入寮応募について詳しくは、入学手続き類に同封される案内冊子にあります。
- 光熱水費は、学寮費に含まれています。
- 学寮費は翌月分を毎月お支払いいただきます。
- 食費は翌月分を毎月お支払いいただきます。月の日数により食費は変動します。
- 経済的に困難な事情があり、学生納付金減免申請（18ページ参照）が認められた者については、入学する当該年度の1年限り学寮費を半額とします。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、見学を中止しています。再開時期については、本学ホームページにて決まり次第ご案内いたします。

②学生寮以外のひとり暮らし用住宅、学生会館を希望する方へ

本学では、学生向けのマンション・アパート・学生会館の紹介業務を、株式会社大妻サポートに委託しています。大妻サポートでは、信頼のおける学生住宅紹介専門会社や学生会館運営会社と提携し、マンション・アパート・学生会館を紹介しています。詳細は入学手続き類に同封される案内冊子をご覧ください。

（注） 株式会社大妻サポートは学校法人大妻学院の教育・研究の発展拡充と大妻生の皆さまの快適な学園生活をサポートするために大妻学院の100%出資により設立された事業会社です。

オープンキャンパス日程（事前予約制）

※新型コロナウイルス感染症の影響などで変更になる場合があります。最新の情報は、本学ホームページでご確認ください。
※学外進学相談会の参加会場については、本学ホームページでご確認ください。

千代田キャンパス

◆家政学部 ◆文学部 ◆社会情報学部
◆比較文化学部 ◆短期大学部

7/10 (日)
8/ 6 (土)
8/ 7 (日)
8/28 (日)
★10/22 (土)
◎11/27 (日)

★…文化祭と同日開催 ◎…人間関係学部も参加

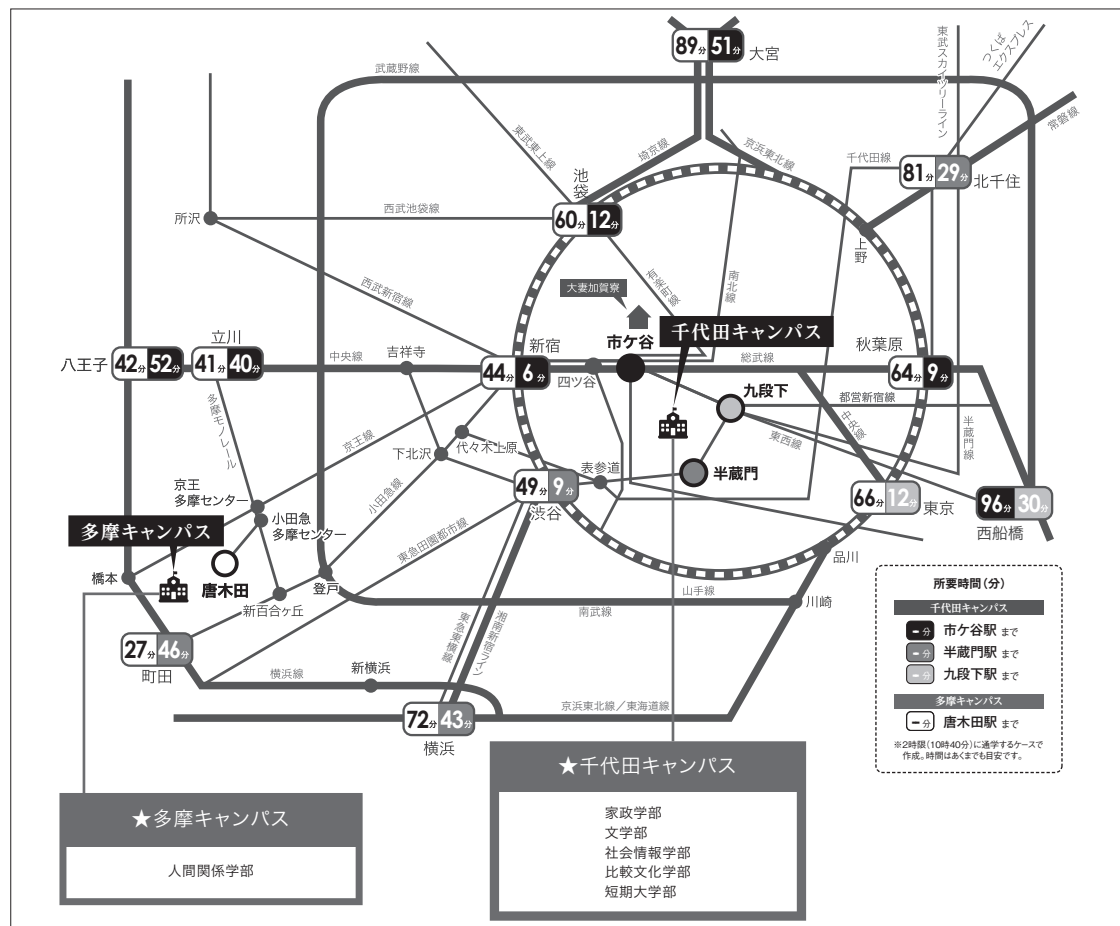
多摩キャンパス

◆人間関係学部

7/10 (日)
8/13 (土)
8/27 (土)
★10/30 (日)

★…文化祭と同日開催

キャンパス・学生寮配置図



受験時の宿泊案内

参考として以下の宿泊施設を紹介します。予約をする際は、直接お申し込みください。

〈千代田キャンパス〉

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
アルカディア市ヶ谷（私学会館） tel. 03-3261-9921 (代)

〈多摩キャンパス〉

〒206-0033 東京都多摩市落合 1-43
京王プラザホテル多摩 tel. 042-374-0111 (代)

キャンパス案内（試験場）

千代田キャンパス 家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

試験場の確認
建物は試験日の2日前に本学HPで発表します。

【交通案内】
△J R 中 央 ・ 総 武 線 市ヶ谷駅下車 徒歩 10 分
(各駅停車)
△地下鉄 東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅下車 (A3 出口) 徒歩 7 分
東京メトロ南北線 市ヶ谷駅下車 (A3 出口) 徒歩 7 分
都 営 新 宿 線 市ヶ谷駅下車 (A3 出口) 徒歩 7 分
東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅下車 (5 番出口) 徒歩 5 分
東京メトロ東西線 九段下駅下車 (2 番出口) 徒歩 12 分
都 営 新 宿 線 九段下駅下車 (2 番出口) 徒歩 12 分

①大学校舎 A 棟～D 棟（試験場）
②本館 E 棟（試験場）
（1 階：広報・入試センター入試グループ）
③本館 F 棟（試験場）
（G 階：広報・入試センター広報・募集グループ）
④大学校舎 G 棟
⑤大学校舎 H 棟
⑥大学校舎別館（J 棟）
⑦大学校舎 K 棟
⑧図書館棟・大妻女子大学博物館
⑨大妻中学・高等学校校舎
⑩大妻コタカ記念会館
（一般財団法人大妻コタカ記念会）

多摩キャンパス 人間関係学部

試験場の確認
試験日当日に掲示をしますので集合場所を確認してください。

【交通案内】
△小田急多摩線 唐木田駅下車 徒歩 5 分

① 1 号館
② 2 号館（学生会館）
③ 3 号館
④ 4 号館（図書館棟）
（1 階：教育・学事支援グループ）
⑤ 5 号館（体育館棟）
⑥ 6 号館
⑦ 7 号館
⑧大妻多摩中学・高等学校校舎

問い合わせ先		
受付時間 千代田：平日 8：30～16：40 土曜日 8：30～13：10 多 摩：平日 8：50～17：00 土曜日 8：50～13：30		
入 試 全 般	入 試 グ ル ー プ（千代田） 教育・学事支援グループ（多 摩）	03-5275-0404 042-372-9970 （入試関係専用）
授 業 内 容 等	家 政 学 部 文 学 部 社会情報学部 比較文化学部 短期大学部	教 育 支 援 グ ル ー プ（千代田） 03-5275-6061
	人間関係学部	教育・学事支援グループ（多 摩） 042-372-9988
奨学金、学生寮等	学 生 支 援 グ ル ー プ（千代田）	03-5275-6071
授 業 料 等	財 務 グ ル ー プ（千代田）	03-5275-6031

千代田キャンパス 〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
多 摩キャンパス 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

ホームページアドレス <https://www.otsuma.ac.jp/>

令和5年度 外国人留学生入試 入試実施における新型コロナウイルス感染症対応について

本学では、受験生の皆さまの健康と安全面に細心の注意を払い、感染症予防策を講じた上で入学試験を実施いたします。各入学試験におきましては、学生募集要項のとりの実施を前提としておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、日程および選抜方法に変更が生じる場合があります。試験実施に関する情報は、随時本学ホームページでお知らせしますので、受験前に必ずご確認ください。

また、日頃から、手洗い・手指消毒、うがい、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避、換気などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など体調管理に心がけ入学試験に臨んでください。

なお、受験生の皆さまは以下の点にご留意、ご協力をお願いいたします。

1 医療機関での受診

発熱・咳、倦怠感、呼吸器症状、関節の痛み等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関で受診し、指示に従ってください。

2 受験できない場合

感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない方や、試験当日 37.5 度以上の熱がある方、呼吸困難や倦怠感等の強い症状のある方、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く方は感染拡大防止の観点から受験できません。

該当する受験生は試験当日の集合時間までに本学入試グループへご連絡ください。その後の対応についてご説明します。

なお、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方につきましても、本学入試グループまでご相談ください。

3 試験当日における対応について

試験当日を含め、定期的な検温を実施いただき、必ず体調の確認を行ってください。

- ① 試験場に入場する際、受験票の検温結果欄を確認いたします。受験票の検温欄に当日の体温をあらかじめ記入の上、お越しく下さい。また、面接等を伴う試験においては入場の際、非接触型体温計による検温を実施します。検温で 37.5 度以上の熱がある場合は受験できません。また、37.5 度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生はその旨を試験場の本学教職員に申し出てください。
- ② 感染予防対策のため、試験場内では昼食時以外は常にマスク（不織布マスク推奨）を着用し、鼻と口を確実に覆ってください。なお、本人確認のために試験中に試験監督者が指示したときは一時的にマスクを外していただきます。試験場内ではマスクの廃棄はできませんので各自自宅へ持ち帰ってください。本学の試験監督者及び面接試験担当者は感染予防のため、マスクを着用の上、必要に応じてフェイスシールドまたは飛沫防止パネルで対応します。事情によりマスク着用が困難な方は、事前に本学入試グループまでご連絡ください。
- ③ 試験場出入口、試験室等にアルコール消毒液を設置しますので入退出の際は手指消毒にご協力ください。
- ④ 本学では換気システムが作動しておりますが、適切な環境維持のため、窓やドアの開放を行います。必要に応じて上着やひざかけで体温調節ができるようにしてください。その際、漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等は避けてください。
- ⑤ 試験会場で食堂の営業等はいりません。必要に応じて昼食を持参し、自席で食事をとってください。その際は黙食にご協力ください。
- ⑥ 試験場への入場者数抑制の観点から保護者等控室は設けません。受験生への付き添いが必要な場合はご相談ください。

問い合わせ先：大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部

広報・入試センター 入試グループ

03-5275-0404